

日墨交流計画

(正式名称：日墨研修生・学生等交流計画)

平成19年6月

外務省中南米局中米課

1. 設置の経緯・実績

- (1) メキシコのエチェベリア大統領が打ち出した構想に基づき、71年、日墨両国間の研修生・学生等の交流計画について、日墨政府間で合意。世界的にもユニークかつ余り例を見ない交流計画。日墨両国の相互理解及び友好のためのシンボルの事業である。
- (2) 2006年末までに34回実施され、これまでの研修実績は、双方合計で約3,800名。現在は、毎年双方50名ずつの枠で実施している。
- (3) 多くの元研修生が各界で活躍しており、両国関係にとどまらず、日本と中南米の交流を支える力となっている。

2. 実施内容

- (1) 研修期間：約1年間
- (2) 研修内容：メキシコ国内の大学等におけるスペイン語の研修及び各自の専門分野の専攻。
- (3) 待遇：往復旅費、派遣期間中の一定の滞在経費をメキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）が負担。授業料は免除。
- (4) 選考：一般公募枠については、選考試験により、推薦枠については、中央省庁、姉妹都市、各団体等からの推薦を受け、日本側で候補者を選定し、メキシコ側が受入を決定。

3. 交流計画の意義・評価

- (1) 日墨友好の絆の強化に大きく貢献。
- (2) 我が国におけるメキシコ、中南米研究及びスペイン語研究のレベルの向上に貢献。
- (3) メキシコのみならず中南米諸国全般で、経済その他の分野の第一線で活躍する人材を養成。
- (4) 将来を担う若い世代の人々に、メキシコ・中南米の異文化・社会を直接体験しつつ勉強する機会を提供。

(了)